

「備後地域次世代ビジネスリーダー養成講座」概要

この講座は、激変するビジネス環境の中、イノベーションの実現に向け、アントレプレナーシップの観点から「新たなビジネスの型」をつくることを目的とした、備後地域における次世代のビジネスリーダーを養成するための経営人材育成プログラムです。

将来的にはこれらの型が集積、システムとなることで、「備後モデル」構築を目指します。

【プログラム概要について】

プログラム名称	備後地域次世代ビジネスリーダー養成講座
企画・運営	県立広島大学大学院経営管理研究科（HBMS）
企画責任者	横山 禎徳（HBMS 研究科長）
受講対象者	備後地域にて将来、企業・組織の経営幹部や起業を目指す方
募集人数	20 名程度
受講期間／ 受講日程・時間	【2021 年度の開講予定】 2021 年 10 月～2022 年 3 月 ・ 1～2 回/月の頻度（週末） 10:00～17:00・全 10 回（計 60 時間）
カリキュラム編成 （計 60 時間）	①「次世代ビジネスリーダー養成（戦略的分析アプローチ）」 （25 時間）
	②「次世代ビジネスリーダー養成（仮説検証アプローチ）」 （35 時間）
講師	本学、他大学、実務家教員で編制 ＊実務家割合：50%（予定）
運営方法	対面（又はオンライン（リアルタイム））

（補足説明）

【講座の特徴について】

本講座は、科目名「次世代ビジネスリーダー養成」において、午前の戦略的分析アプローチ（インタラクティブレクチャー編）と午後の仮説検証アプローチ（実践編）の 2 科目から構成されています。

午前は、中小企業経営にとって必要な経営の各分野、具体的には経営戦略、イノベーション、マーケティング、サプライチェーンマネジメント、ビジネスモデル等を、これまでのビジネススクールで実践されてきた、客観的な分析を通じて合理的な意思決定を行う戦略的分析アプローチにより、講師・受講者双方向のやり取りを交えたインタラクティブレクチャー形式によって学びます。

午後は、グループ別に編成したプロジェクトチームに分かれ、グループワークを中心に、新規事業にとって効果的な、既存の世界から未知の世界を推論するパターン適合、当事者の立場で客観合理性ではなく感覚を重視するデザイン思考、試作検証を繰り返すリーンスタートアップ仮説検証アプローチにより、様々な課題解決・企画立案の取組を実施し、本講座の集大成として、最終的には「新たなビジネスの型をつくる」をテーマに、新規事業計画立案に取り組み、プレゼンテーションを行います。

これらの実践を通じ、講座終了後、激変するビジネス環境を生き抜く次世代型のビジネスリーダーとなるメソッドを身に付けることを目指します。